

令和2年度 第4回 諏訪区地域協議会 次 第

日時：令和2年9月2日(水) 午後7時から
会場：諏訪地区公民館 集会室

延べ1時間10分

1 開 会

【2分】

2 議 題

(1) 報告事項

① 「公の施設の再配置計画」の策定について 【20分】

(2) 協議事項

① 自主的審議について 【45分】
・ 身近な地域の課題等について

(3) その他

3 そ の 他

(1) 次回開催日の確認 【3分】

- 日時： 月 日 () 午後7時から
- 会場：諏訪地区公民館 集会室
- 内容：自主的審議について

(2) その他

4 閉 会

「公の施設の再配置計画」の取組について

1 公の施設の再配置の取組状況と現状と課題について

(1) これまでの取組状況

市町村合併後、公の施設の廃止や譲渡を進め、平成23年10月時点で991施設あった公の施設は、令和2年4月1日現在、731施設となっています。



(2) 現状と課題

現 状

○人口推計

合併当時21万人であった人口は、減少傾向が続いており、令和27年には、推計で約14万人となる見込み。

(R2.4.1 現在の人口：190,042人)

○財源不足

市の財政は、歳出が歳入を上回るため、財源不足を基金の取崩しで補う状況が続く見込み。

(R2～R4年度で49.6億円の取崩しを予定しており、また、R5以降においても収支均衡を図る目途がたっていない。)

○公の施設の状況

- 多くの施設の老朽化に伴う、維持管理経費と更新費用増加の見込み。

(今後40年間の維持・更新費用試算額：約4,325億円)

- 合併前の各市町村で進めた施設整備により多くの類似施設を保有している。(温浴施設、体育館など)

課 題

- 人口の減少

- 施設機能の重複する配置

- 施設更新、維持管理に係る財政負担の抑制

- 施設機能の適正な維持

*老朽化する施設に対する計画的な修繕の実施、機能を維持するための複合化(機能集約)

2 公の施設の再配置計画(個別施設計画)について

(1) 公の施設の再配置の必要性

将来予測される人口減少や市の財政状況等を踏まえ、今後、施設の老朽化がますます進行し、大規模修繕や更新が見込まれる中、多くの施設を現状のまま維持していくことは困難な状況です。

このような状況の下、今を生きる私たちは、地域の皆さんと共に、子どもや孫など次代を担う世代が今後も安心して暮らすことができる将来を見据え、教育や福祉を始めとした市民生活を支える基礎的なサービスを安定的に提供していくためにも、施設の廃止や機能の集約を行う必要があります。

また、継続すべき施設については、末永く利用していただくため、適切に維持・管理し、長寿命化を図ることとしています。

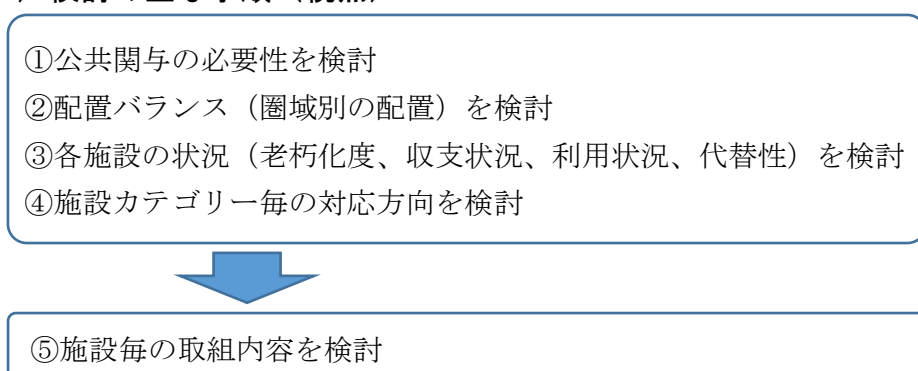
(2) 計画期間

- 令和3年度～令和12年度の10年間とし、令和7年度に見直しを行います。

(3) 公の施設の再配置における取組方針

取組方針	具体的な取組
①人口や財政状況を踏まえ施設の配置を検討	廃止（休止） 用途の変更
②地域の実情を踏まえ施設の配置を検討	機能の集約
③利用状況を踏まえ適切な管理者によるサービス提供を検討	民間譲渡 貸付又は譲渡
④長期にわたり利用促進を図るため計画的な修繕等について検討	施設の長寿命化

(4) 検討の主な手順（視点）



3 スケジュールについて

時 期	内 容
H31. 3～	○ 全 28 区の地域協議会に第 6 次上越市行政改革推進計画の策定に伴い行政改革の取組の概要を説明
R1. 10～11	○ 全 28 区の地域協議会に今後の「公の施設の再配置計画」の取組について説明
R1. 12～R2. 3	○ 地域協議会に公の施設の再配置の取組状況を報告 ○ 関係者との協議（利用者、地元町内会、その他影響が想定される団体等） ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 4～	○ 関係者との協議（協議未了の施設）【施設所管課】
R2. 7～9	○ 地域協議会に関係者との協議に基づき作成した再配置候補施設リストを示す。 【行政改革推進課・施設所管課】 ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 11	○ 再配置計画（案）の作成【行政改革推進課】
R2. 11～R3. 2	○ 所管事務調査（総務常任委員会）【行政改革推進課】 ○ パブリックコメントの実施（計画案の公表）【行政改革推進課】
R3. 3	○ 公の施設の再配置計画（個別施設計画）策定・公表【行政改革推進課】
〈参考〉 【計画策定後】 R3. 4～R13. 3	公の施設の再配置の実施 ○関係者と正式協議（方針決定） ○地域協議会に諮問 ➡ 答申 ○市議会で議決 ➡ 施設の再配置（廃止、譲渡等）

公の施設の再配置計画における各施設の方向性

【現状維持】

【05 諏訪】

施設名	施設カテゴリー		今後の方向性(案)		完了 年度	計画期間中のスケジュール										備考
			説明			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
諏訪児童館	6	児童館	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
二貫寺の森	31	市民の森	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
諏訪地区公民館	47	公民館	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	機能を維持するための 改修を検討

【再配置】 該当施設なし

自主的審議の進め方（イメージ）

※ 以下は一例であり、この通りである必要はありません。

手順	工程	具体的な取組（例）
手順 1 （本日）	地域協議会委員だけで考えてみる。 《⑩ 事前準備》	➤ 地域協議会委員が日頃から感じていることや、日常で見聞きしている情報などから、「解決すべき地域の課題」「伸長すべき地域の特長」について考える。
手順 2	調べる（聞く・見る） 《⑪ 地域課題への気づき》	※ 《⑩ 事前準備》を行ったうえで、 ➤ 町内会長、地域の団体、住民と意見交換を行う。 [意見交換会の開催] ➤ 市からの情報提供を受ける。 ➤ 現場を確認する。 など
手順 3	話し合ってテーマを決める。 《⑫ 地域協議会での協議》 《⑬ 自主的審議の開始》	※ 《⑪ 地域課題への気づき》をもとに、 ➤ 改善や伸長すべきテーマを明らかにし、「自主的審議事項」を定める。 ➤ 改善や伸長すべきテーマがない場合は、自主的審議を行わないことを決める。
手順 4	テーマについて深掘りする。	➤ アンケート調査などにより実態把握を行う。 ➤ （必要に応じて）町内会長、地域の団体、住民との意見交換を行う。[意見交換会の開催] ➤ 市からの情報提供を受ける。 ➤ 視察研修を実施する。 など
手順 5	対応策（手段・ゴール）を決める。	（※ 対応策の例） ➤ 地域内での解決に向けて活動（地域の団体との継続的な意見交換・働きかけ など） ➤ 「地域活動支援事業」の採択方針への反映により対応策となる取組を促進する。 ➤ 「地域を元気にするために必要な事業提案」の活用に向け、地域の団体と連携して市と協議する。 ➤ 「意見書」を提出し市による実現を目指す。
手順 6	対応策を実施する。	—
手順 7	対応策を総括する。	➤ 上記対応策の結果を把握し、評価を行う。必要に応じて、対応策の見直しを行う。